

活動地：千葉県柏市

面積：約 185,000m²

活動開始時期：2006 年 4 月



団体の活動内容について

柏市の北部に位置するこんぶくろ池は、珍しい台地上湧水に涵養された湿地であり、その周りの樹林地と一体として、市街地のなかの貴重な自然が残されているところです。ここでは、ズミ、クロウメモドキ、クロツバラ、ヌマガヤなど冷温帯性の湿地性植物が生育する他、オオタカ、カワセミ、タヌキ、ノウサギなどの生息する森があります。

全国でも珍しい都市型の自然公園として整備・管理してきましたが、近年、見学者や散策者が増加し、今後の保全と利用の在り方が課題となってきました。こうしたなか、NPO 法人こんぶくろ池自然の森は、近隣の千葉大学・東京大学の協力を得ながら、この貴重な自然環境を保全・育成し、森と人の営みを活かしたコミュニティーづくりへと展開する活動を行っています。

この度、官民学協働の自然保護・再生の良い事例として評価され、更なる展開を期待して第 10 回日本自然保護協会沼田眞賞を (2011 年 1 月 22 日) 受賞いたしました。これを機に『こんぶくろ池自然博物公園』をより広く、そして深くご理解頂くように保全・保護する活動の和を広げようとするものです。



市民が自然を身近に感じ、楽しむための観察路の整備も行っています



現況の植生を活かした将来像を設定し、それに合った植生管理を行っています